

ピロリ菌の治療のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力のお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター消化器内科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

当科におけるボノプラザンを使用したピロリ菌一次除菌療法の検討

【研究の背景と目的】

ヘリコバクターピロリ菌（ピロリ菌）は胃潰瘍、十二指腸潰瘍、萎縮性胃炎、胃癌の原因として知られています。ピロリ菌を退治（除菌）することによりこれらの病気の再発や予防の効果が示されていて、当院でも積極的に除菌治療を行なっています。しかし近年、抗生剤が効かないピロリ菌の増加により、治療成績が低下しています。そこで今回、当院でのピロリ菌の除菌治療成績を調査する予定です。

【対象となる方】

2021 年 10 月 1 日から 2023 年 1 月 31 日までに当科でピロリ菌の除菌治療を受けた方

【使用する検体・診療情報】

使用する検体や診療情報は以下のとおりです。

年齢、性別、診断名、除菌前の内視鏡結果（内視鏡診断や萎縮性胃炎の程度）、除菌結果、併用薬（胃薬）、副作用です。

なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

【研究期間と参加予定人数】

この研究は 2023 年 5 月の当院臨床研究倫理審査委員会承認後から病院長許可日（2023 年 5 月 30 日）まで実施され、約 200 名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用した検体やカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究の研究成果は英文医学雑誌へ投稿される予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 内視鏡センター 片山 裕視（教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 消化器内科 担当者：鈴木 優仁（大学院生）PHS 1145

電話番号：048-965-4923（医局直通） 平日 9：00～17：00

以上